

2章 かながわけん 神奈川県はどんなところ？

1 山あり，谷あり，平野あり

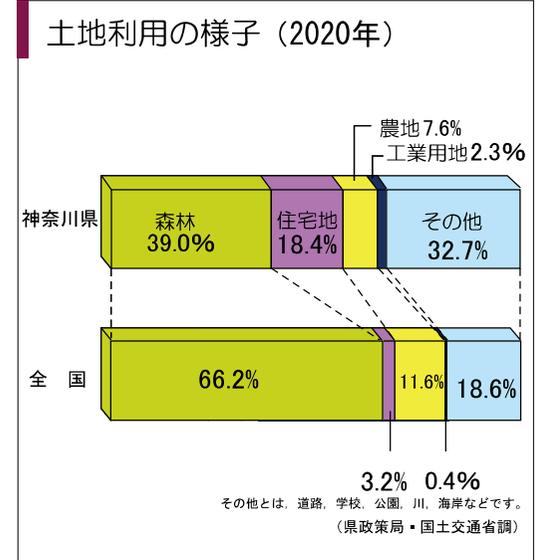
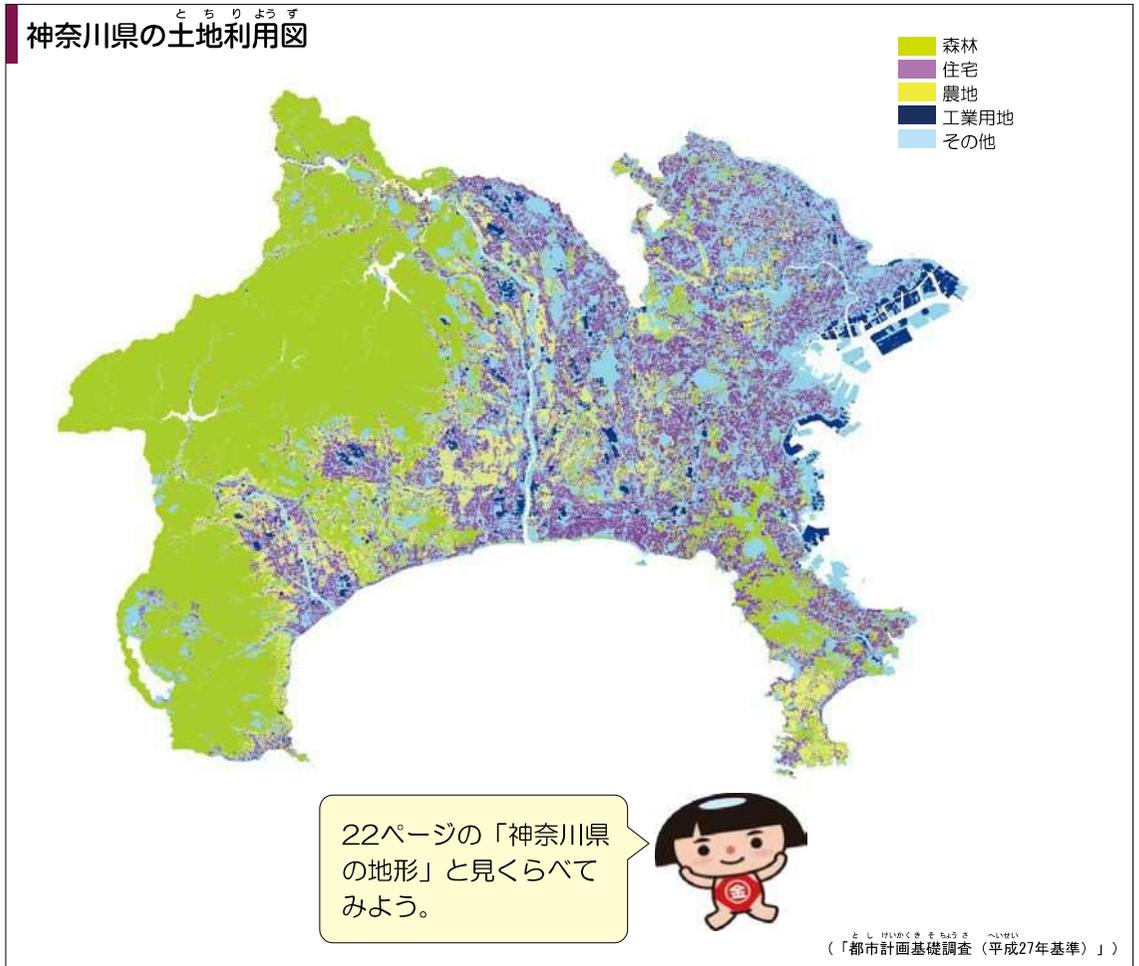


どんな形に見えるかな？
ネコかな？ イヌかな？



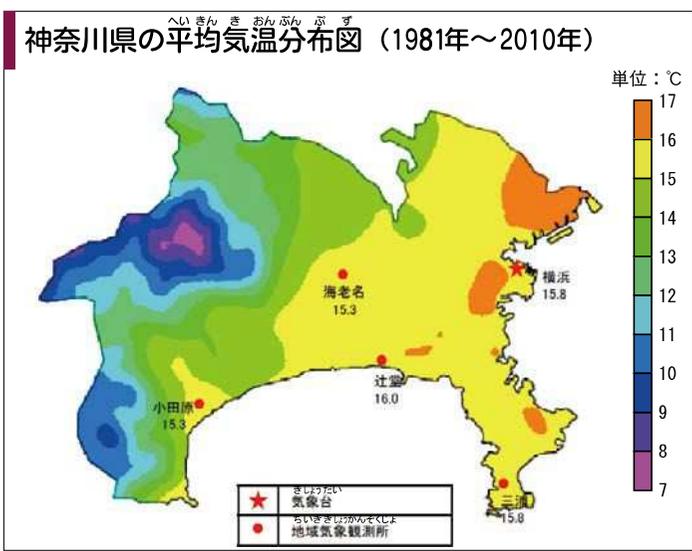
海からの高さ	県内を流れる長さ	面積
神奈川県 蛭ヶ岳 1,673m 大室山 1,587 丹沢山 1,567 塔ノ岳 1,491 神山 1,438 駒ヶ岳 1,379 大山 1,252 <small>(日本の山岳標高一覧 (一1003山) 国土地理院)</small>	神奈川県 相模川 55.6km 境川 52.1 中津川 32.8 鶴見川 32.0 多摩川 28.4 酒匂川 27.2 道志川 21.7 <small>(県土整備局調)</small>	神奈川県 芦ノ湖 6.9km ² 宮ヶ瀬湖 4.6 相模湖 3.3 津久井湖 2.5 丹沢湖 2.2 <small>(県土整備局・企業庁調)</small>

神奈川県は西には、丹沢の山々や、箱根の山々があります。中央には相模川、西の方には酒匂川、東京都との境には多摩川が流れており、そのまわりには広い平野ができています。南東の地域は丘陵となり、三浦半島がつき出して東京湾と相模湾を分けています。



神奈川県土地利用の様子をみると、住宅や工場に使われる土地の面積の割合は全国平均の約6倍もありますが、森林や農地の割合は全国平均より低くなっています。住宅や工場に使われる土地が多く、森林や農地が少ないことが特徴です。

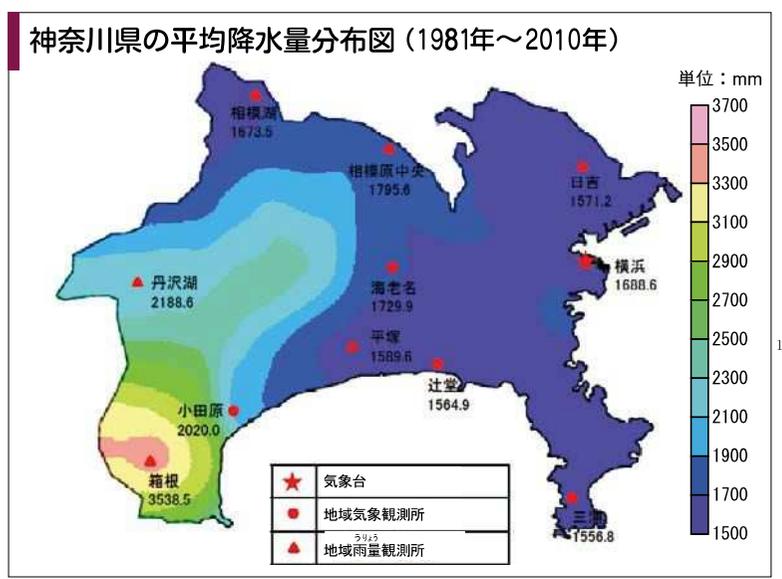
2 あたたかな気候



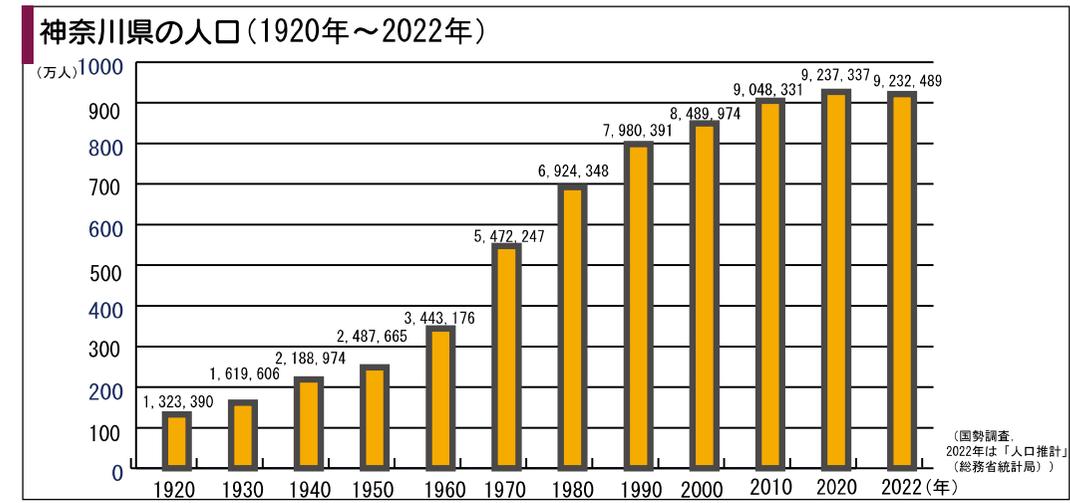
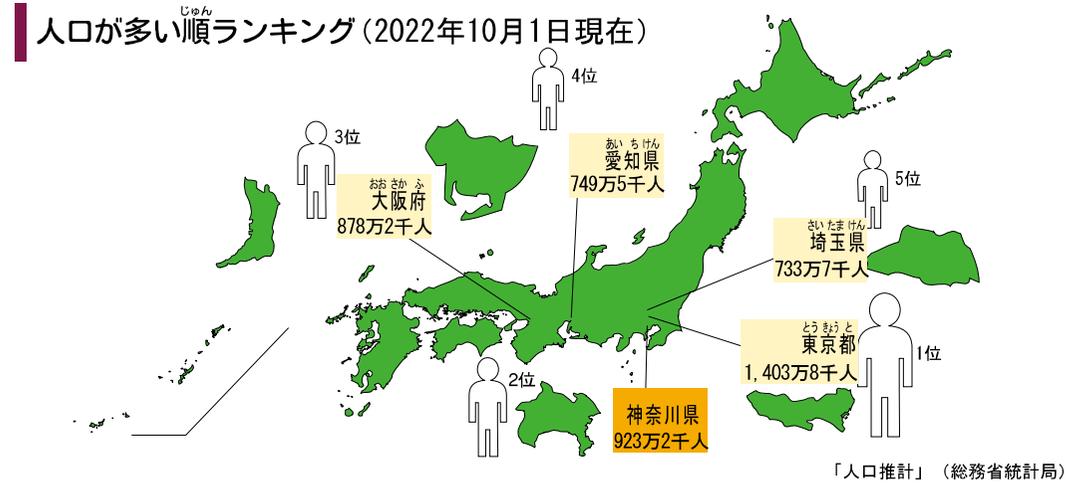
神奈川県は、日本の中でも気候の良いところといわれています。それは、丹沢・箱根の山々が、大きなかべの役目をして冷たい風をふせぎ、太平洋側からはあたたかい空気が流れこむからです。

22ページの「神奈川県の地形」と見くらべてみよう。

気候や降水量は、地形と関係があります。西の方の山地では、気温は低く、降水量はほかの地域の約2倍です。中央や東の方は、山地にくらべて気温は高く、降水量は少なくなっています。



3 全国で2番目の人口



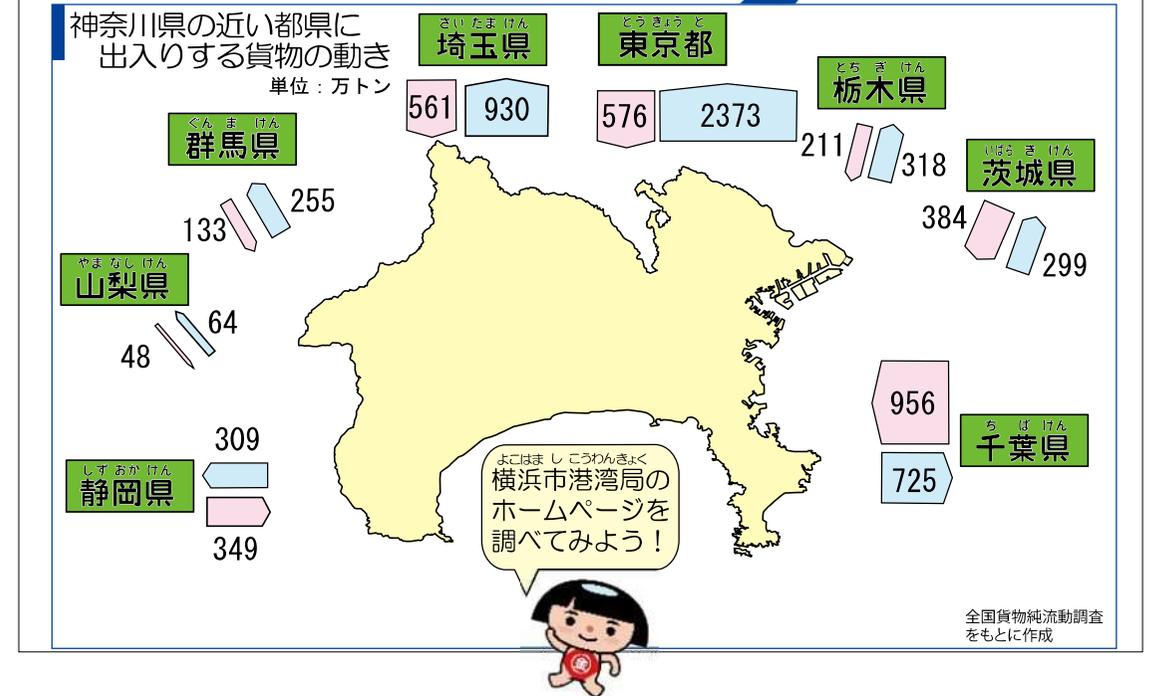
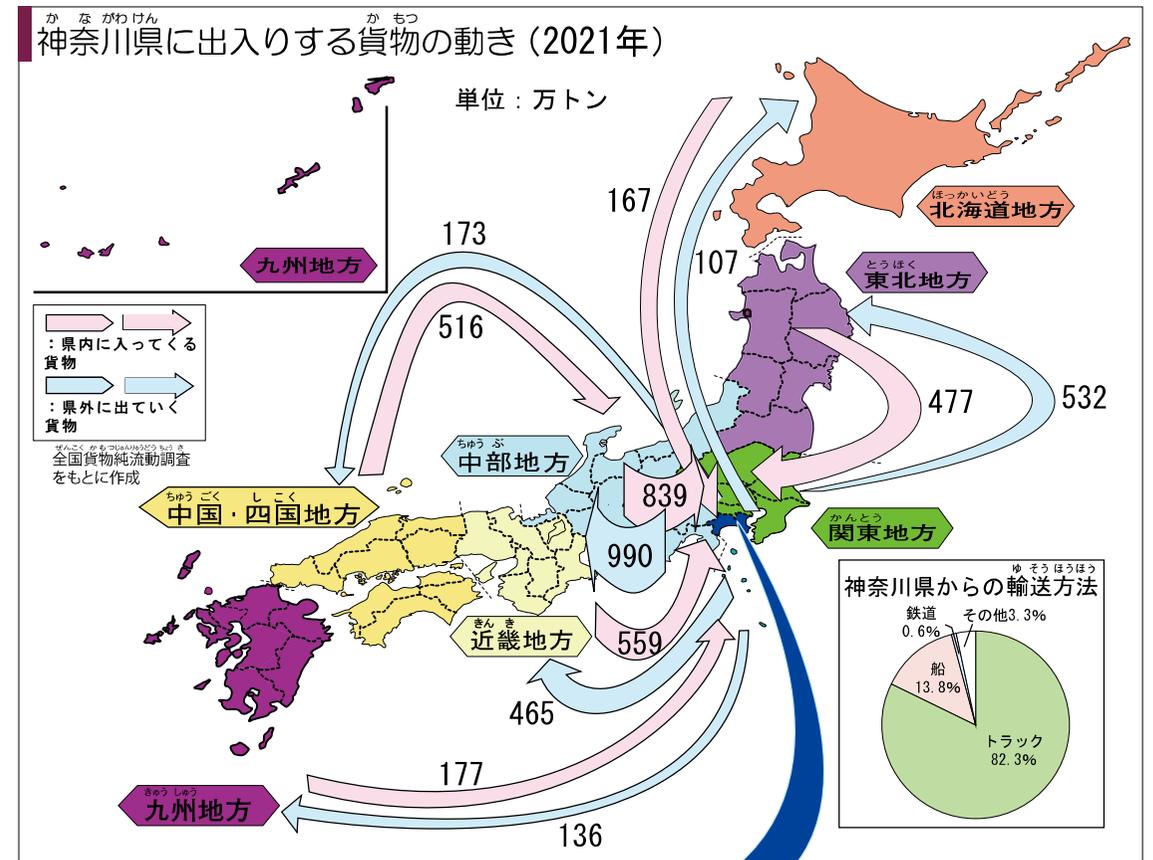
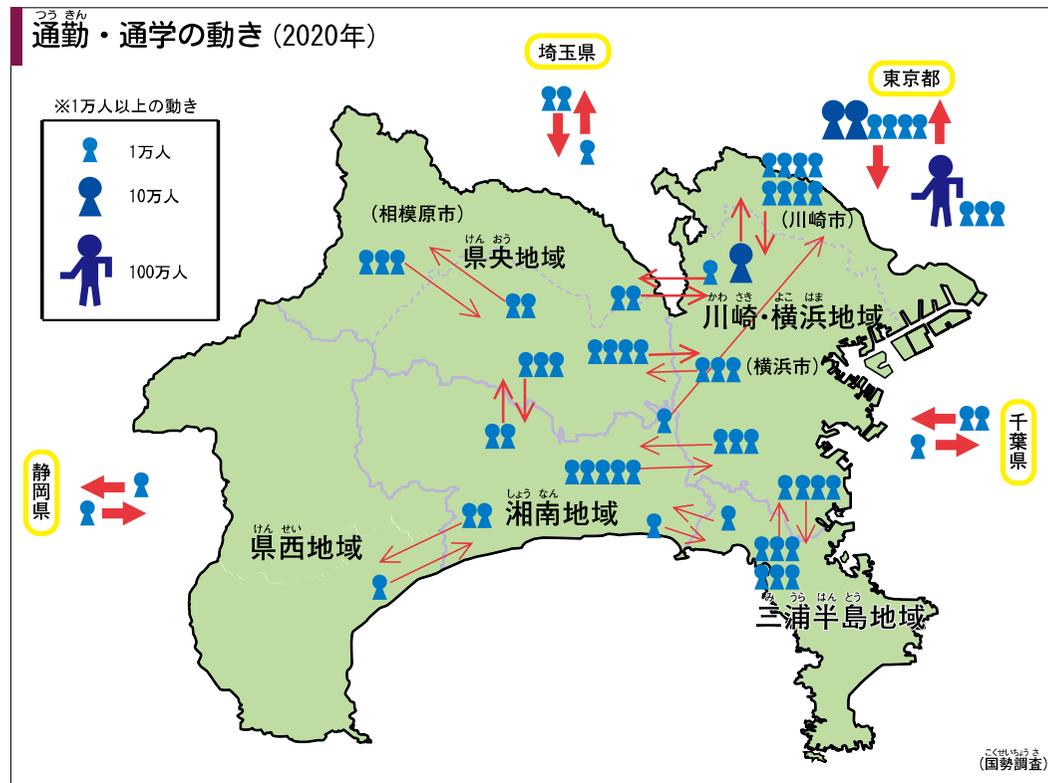
2022年(令和4年)10月1日の神奈川県の人口は、約923万2千人(男：約457万9千人、女：約465万3千人)で、東京都について全国で2番目の多さです。

これまで、神奈川県の人口はふえ続けていきましたが、2021年(令和3年)以降、神奈川県の人口はへり始めています。

4 さかんに行き交う人や物

わたしたちは、学校に通ったり、買い物や旅行に出かけたり、毎日のように移動しています。また、くらしに欠かせない食料品や衣料品などは、わたしたちの手にとどくまでに、さまざまなところから運ばれてきます。一方で、県内で生産された農産物や工業製品などは、国内のいろいろな地域に運ばれていきます。⁵

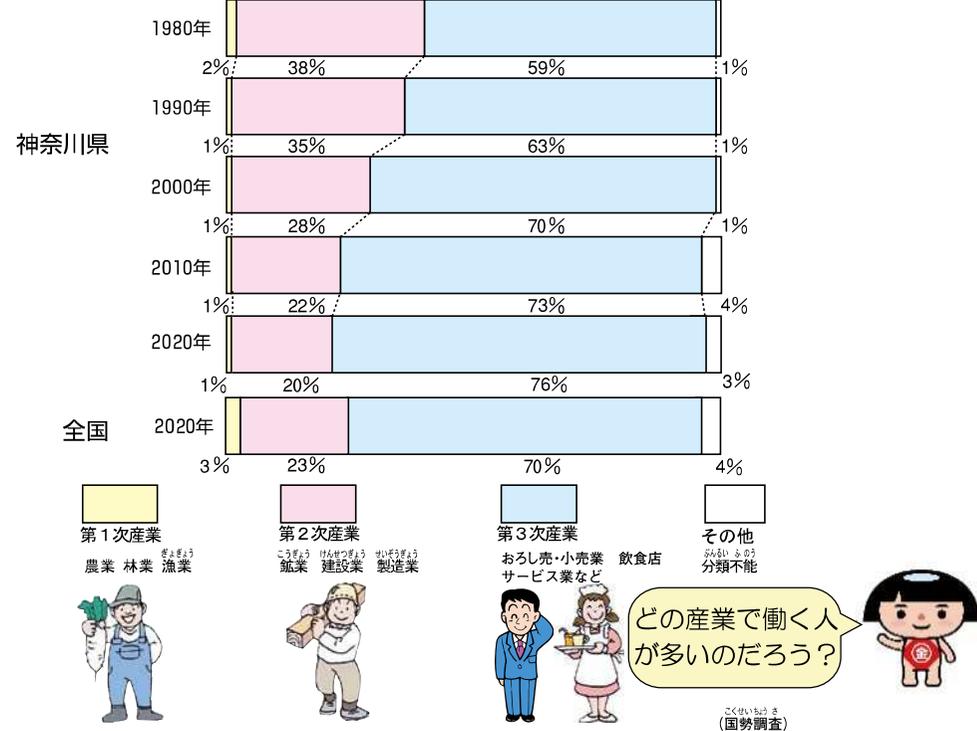
こうした人や物の移動には、車、電車、船、飛行機などが使われます。



かながわけん さんぎょう 6 神奈川県 の産業

(1) 産業の様子

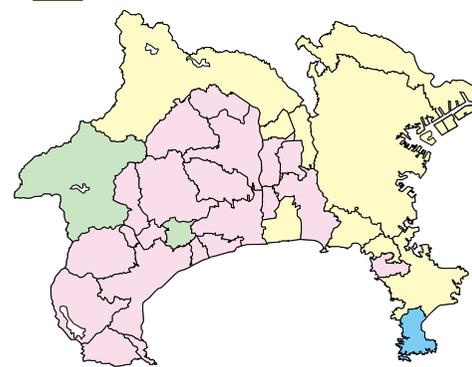
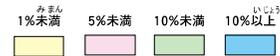
産業別人口の割合のうつりかわり



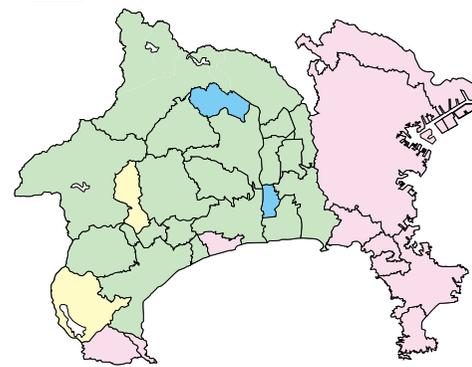
県民で働いている人は、およそ415万3千人〔2020年（令和2年）〕で、全国で2番目に働いている人が多くなっています。仕事の内容を分類すると、最も多くの方が、おろし売・小売業、サービス業を中心とする第3次産業で働いています。農業や漁業を中心とする第1次産業や、製造業を中心とする第2次産業で働く人が年々へっているのに比べて、第3次産業で働く人の割合はふえています。

産業別人口割合マップ (2020年)

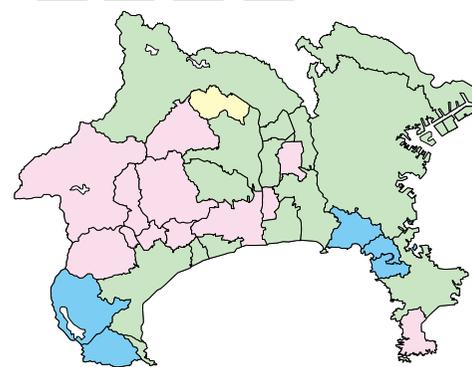
第1次産業



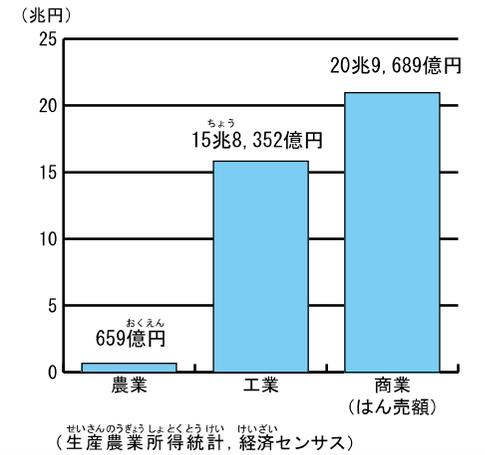
第2次産業



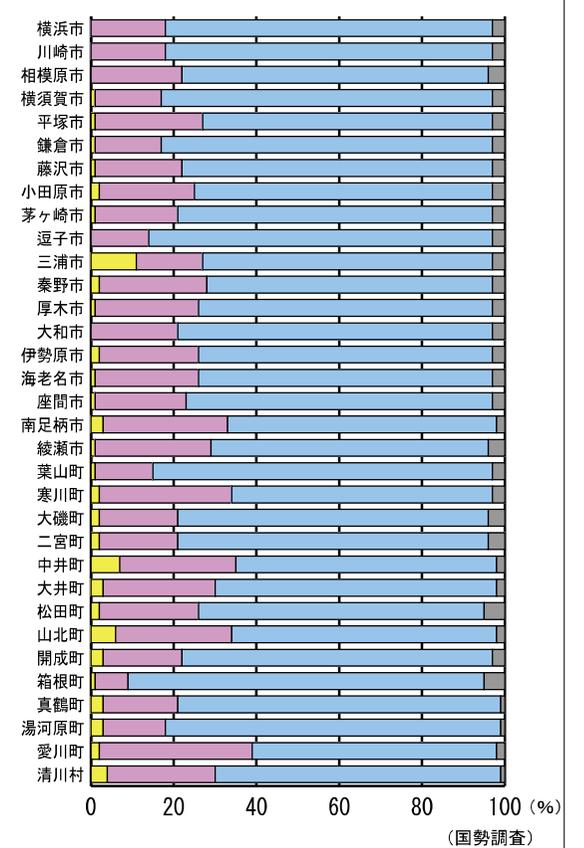
第3次産業



主な産業の生産・はん売額 (2020年)



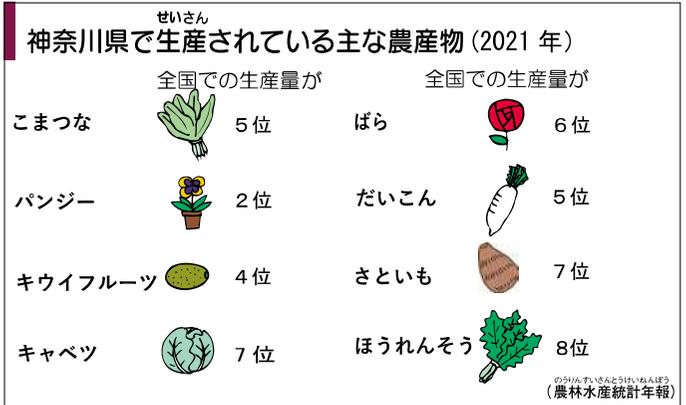
市町村の産業別人口割合 (2020年)



(2) 農業：神奈川県内で作られる野菜やくだもの

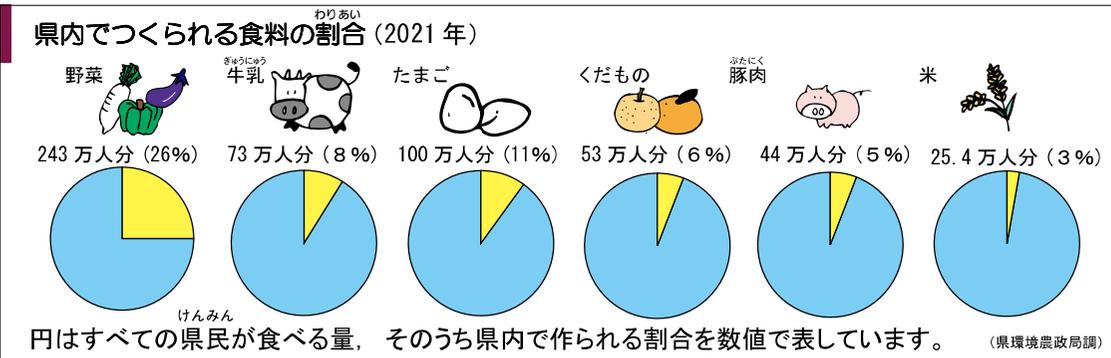
神奈川県内で作られた新せんで安全な農畜産物は、わたしたちの健康に役立っています。また、田や畑などの農地は、自然とのふれあいや、やすらぎの場になっています。

神奈川県の農地面積は、県全体の約7.4パーセント〔2022年(令和4年)〕しかありませんが、かぎられた農地でいろいろな作物を工夫して育てています。しかし、人口が多く、必要としている量には足りないのです、他の県や外国から食料を買っています。



都市の中で家畜をかうことは大変ですが、県内の農家は牛、豚、鶏を工夫して育てています。みんなが学校給食で飲んでいる牛乳は、その多くが県内でつくられています。

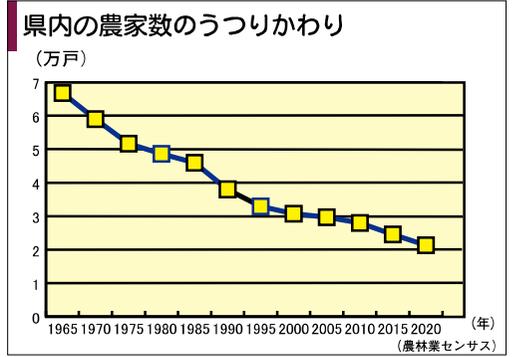
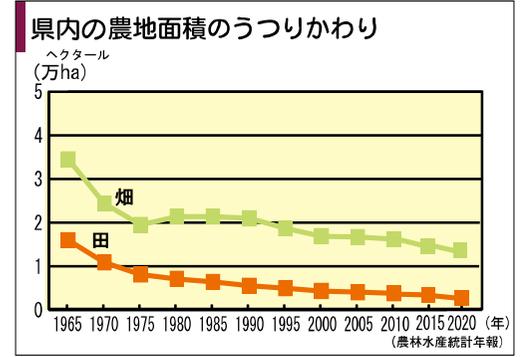
海、山、川のめぐまれた自然にはぐくまれ、小田原のみかんや足柄茶の生産もさかんです。



関東農政局 神奈川県拠点
 神奈川県 農業技術センター
 神奈川県 畜産技術センター
 のホームページを調べてみよう!



この他にも各種農産物が生産されています。



温室でのトマトの収穫 (藤沢市)

温室などを利用したトマトやきゅうりなどの生産がさかんです。生産する時期を変えることができるので、せまい農地で高い収入を得られます。

キャベツの収穫 (横須賀市)

三浦半島は、あたたかい気候と広い台地を生かしてキャベツ・だいこん・すいかなどの大産地となっています。

市場外流通

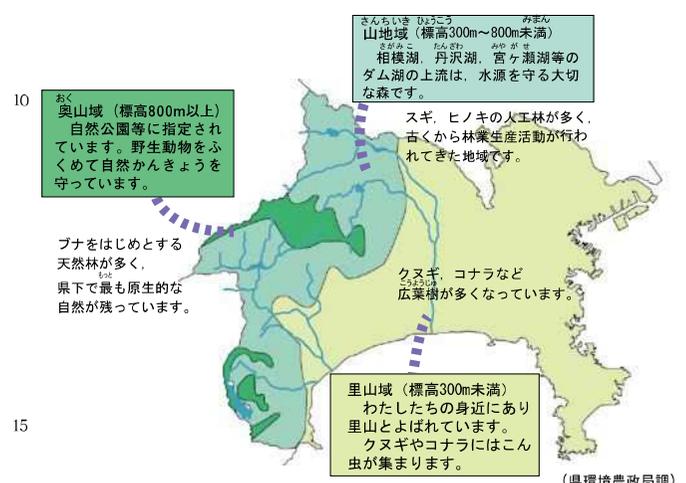
市場外での流通は、野菜などを作る生産者とそれを食べる消費者が直接やりとりできる場で、おたがいにつながりあうことができます。たとえば、直売所や朝市などがあります。

(3) 林業：森の役割

神奈川県かながわけんの森林は、県の西部に多く、面積は県全体の約39パーセント〔2023年（令和5年）〕となっています。

森林は緑のダムと呼ばれ、水源や自然かんきょうのほか、さまざまな生き物を守る大切な役割を果たしています。また、木材などの生産や、どしゃくずれなどの自然さい害をふせぐはたらきもあります。

一度人間の手の加わった森林は、間ばつなどの手入れをしないとあれてしまうので、県では自然かんきょうをこわさないような方法で、林道をつくり、手入れをする手伝いをしています。森林をあずかったり、県民のみなさんにボランティアとして参加してもらい森林の手入れを進めています。また、木を使うことで森林を守り育てようとしています。



間ばつが必要な森林（山北町）



間ばつされ明るくなった森林（山北町）



きった木を運び出す作業（伊勢原市）



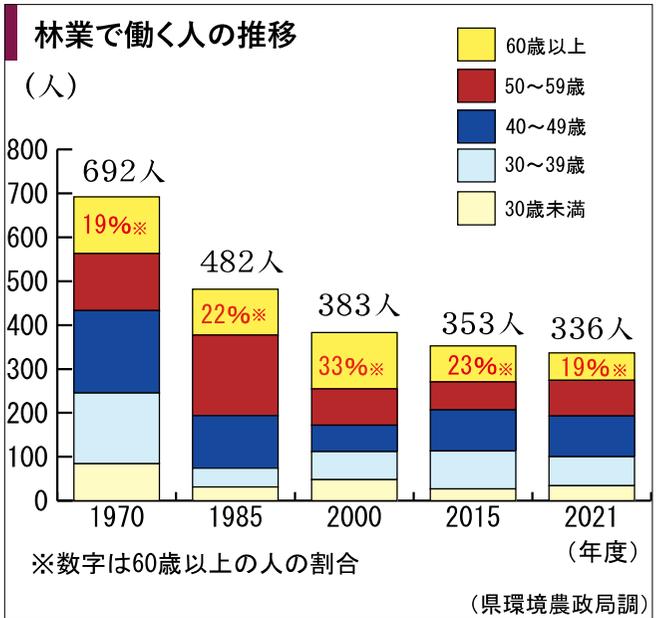
森林ボランティア活動（松田町）



県産の木材を使った保育園（厚木市）

林業で働く人は、1970年度（昭和45年度）は692人いましたが、長期的には減少しています。

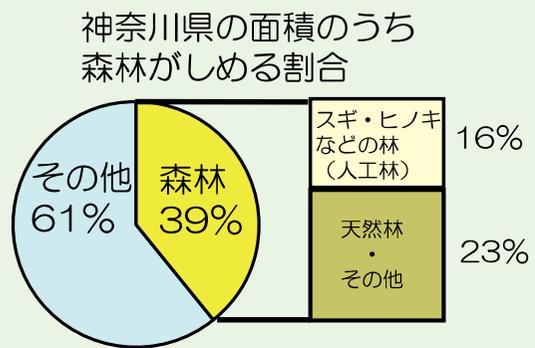
また、60歳以上の割合が、2000年度（平成12年度）には約33パーセントを占めていましたが、近年は若返りが進み、2021年度（令和3年度）は約19パーセントとなっています。



花粉の少ないスギ・ヒノキ

戦後、神奈川県をはじめ日本各地では、木材を生産するためにたくさんスギ・ヒノキが植えられました。神奈川の森の、約4割がこういったスギ・ヒノキの林です。近年はスギやヒノキが大きく成長して、たくさん花粉を飛ばすようになりました。

スギ・ヒノキから飛散する花粉は花粉症の原因にもなることから、近年では県内で生産されるスギ・ヒノキの苗木は、全て花粉の少ない品種になっています。



花粉の少ないスギの調査

〔土地面積の出典：令和元年全国都道府県市区町村面積調（国土地理院）〕
〔森林面積の出典：神奈川県森林計画（令和4年12月樹立）〕

(4) 水産業：ゆたかな海のめぐみ

神奈川県かながわけんの海岸には多くの漁港ぎょうこうがあります。三浦半島みうらはんとうの三崎漁港みさきは、まぐろ漁船えんようぎしょうを中心とした遠洋漁業きちの基地として有名です。

東京湾とうきょうわんでは、たちうおさ、すずきがみわん、あなごさ、かれいていちあみなどがとれます。相模湾さがみわんでは、あじさ、さばさ、いわしていちあみなどを定置網ていぢしやうでとっています。岩や石の多い海岸では、あわびあわびやさざえさざえがとれます。このように地域ごとに特色のある漁業いしやうをしています。

「つくり・育てる漁業」にも力をそそいでいます。まだい、とらふぐとらふぐ、あわびあわびなどを卵から育てて相模湾や東京湾に放流はうりゅうしています。また、のりのりやわかめわかめなどの養しやしょくしやくも行われています。芦ノ湖あしのこでは、わかさぎわかさぎ、相模川さがみがわなどではあゆあゆを放流しています。自然ぜん豊かな海や川うみでないと、おいしい魚いしは育ちません。



とらふぐの稚魚の放流風景 (三浦市)



わかめ養しよくの風景 (横須賀市)

神奈川県かながわけんの漁業生産量いしやうは約2.4万トン〔2021年(令和3年)〕で、漁業種類いしやうごとの割合割合は、沿岸漁業えんがんが約46%、沖合漁業おきあいが約2%、遠洋漁業えんやうが約49%、養しやしょくしやくが約4%となっています。



神奈川県水産技術センターのホームページを調べてみよう!

沿岸漁業
沿岸漁業は、陸から近い海域で行われる漁業で、基本的に日帰りで行われます。定置網は神奈川県かながわけんの沿岸漁業の生産量の7割を占める、重要な漁業です。一定の場所に長く網を張っておき、中に入った魚を漁獲するものです。



定置網の操業風景 (石橋定置)

沖合漁業
1回の操業は、2、3日~1週間くらいです。主に伊豆諸島や四国沖などを漁場としてしています。

遠洋漁業
1回の航海は数か月から1年以上になります。

神奈川県かながわけんの漁業データ

項目	単位	神奈川県総量	都道府県順位
漁業就業者数 (2018年)	人	1,848	28位
漁船せき数 (2018年)	せき	1,779	27位
漁業生産量※ (2021年)	トン	23,748	29位

(出典：「漁業センサス」、「海面漁業生産統計調査」、「内水面漁業生産統計調査」、「漁業産出額」(県水産課調べ) ※海面漁業・養しよく業の生産量の合計)

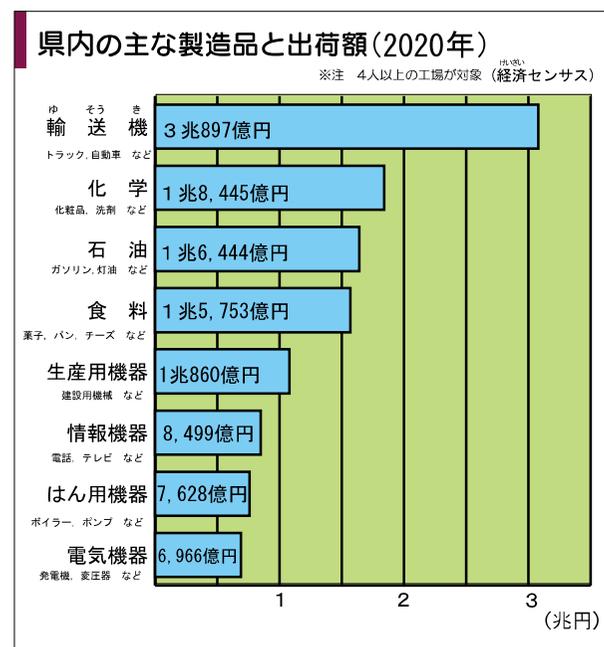
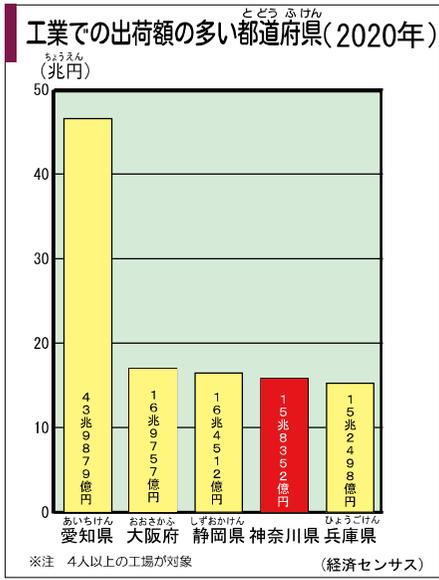
ある定置網の乗組員の一日の流れを聞きました。



- 2:00 港に集合
- 2:20 出港
- 2:50 漁場(定置網)に着く
網をあげて魚をとり上げる
- 4:00 終了
- 4:30 帰港
魚市場へ水揚げ選別、出荷作業
- 6:00 朝食
翌日の仕込み網の手入れ
- 12:00 終業、解散

(5) 工業：全国第4位の出荷額

神奈川県は、工業がたいへんさ
 かな県であり、出荷額（工場で
 生産された物のうち、送り出され
 た物の金額）は、全国第4位で
 す〔2020年（令和2年）〕。



海に面した場所に続く工場（川崎市 横浜市）

どんなものが出荷されて
 いるかを調べてみると、トラ
 ック、自動車などの輸送機
 が多くなっています。
 特に、川崎市や横浜市の
 海岸のうめ立て地を中心と
 した京浜工業地帯は、石油
 コンビナートや自動車工場
 などがたちならんでいて、
 日本で工業のさかんなところ
 の一つです。

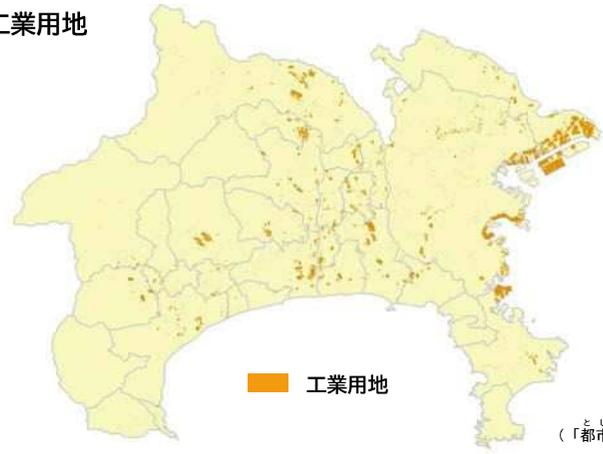
また、湘南地域や県央地域には、広い
 しき地にいろいろな工場が集まる工業
 団地があり、電気製品や自動車などが
 生産されています。これらの工場では、
 大型の機械を使って、生産が行われています。



湘南地域の工業団地(秦野市)



主な工業用地



(地独)神奈川県立
 産業技術総合研究所
 のホームページを
 調べてみよう!



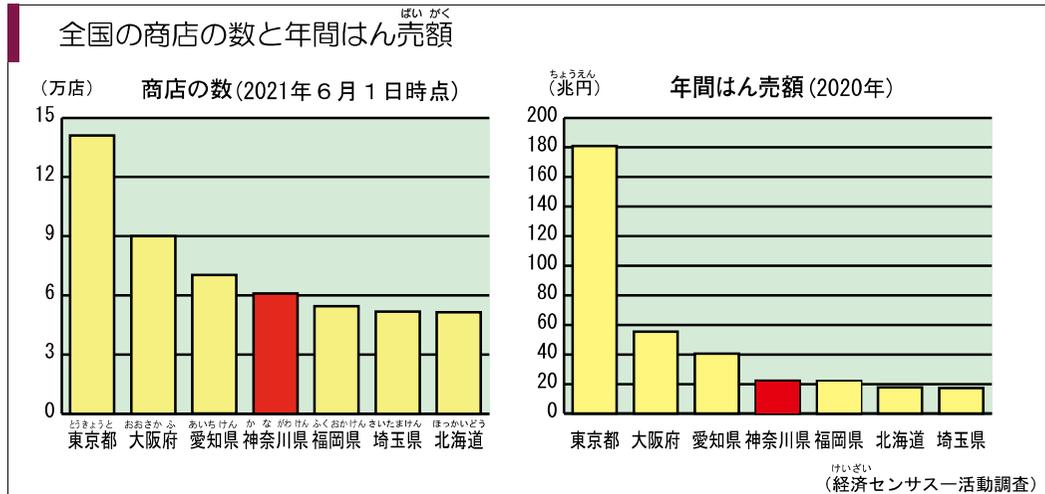
(「都市計画基礎調査(平成27年度基準)」)



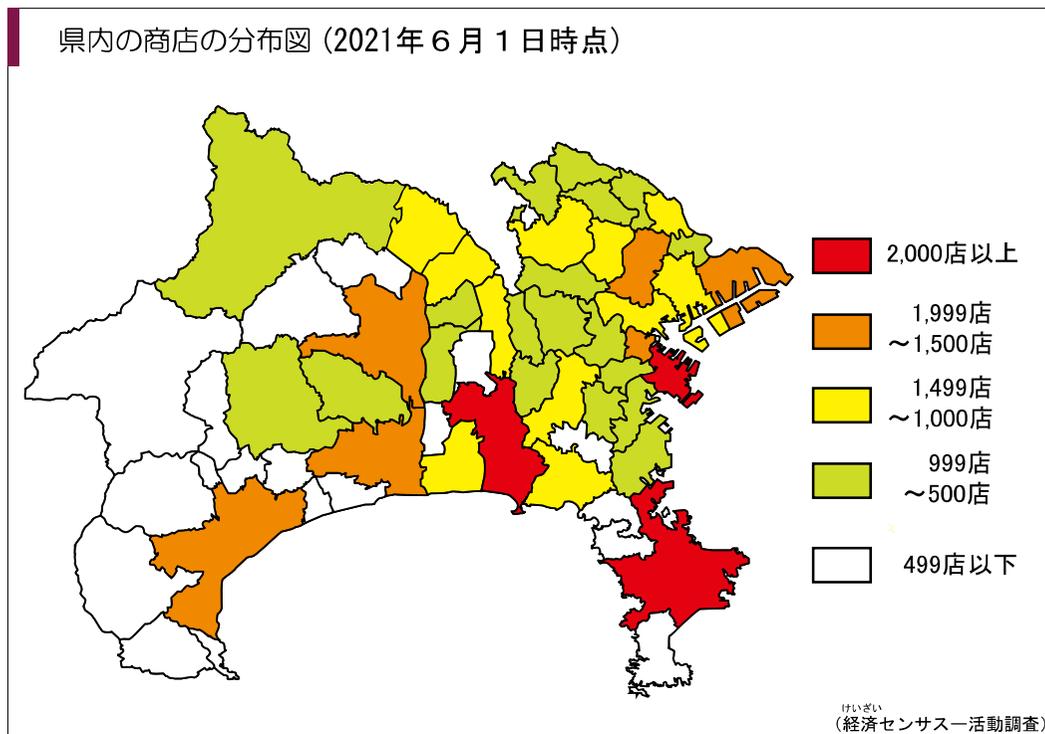
横須賀リサーチパーク(横須賀市)

また、最近(さいきん)は新しいぎじゅつ
 の開発をめざす研究所が県内各
 地でふえています。

(6) 商業：さまざまな生活にあった商業



神奈川県の商店の数は、6万1,012店〔2021年(令和3年)6月1日時点〕で、全国第4位であり、はん売額で見るとおよそ22兆円〔2020年(令和2年)〕で、全国第4位となっています。



最近^{さいきん}は、さまざまな生活にあわせた店が多く見られるようになりました。

通りにそって、たくさん^{ひつよう}の店がならんでいる商店街^{しょうてんがい}では、お店の人と相談しながら、必要な量だけを買うことができます。



商店街 (川崎市)

いつでも開いていて便利なコンビニエンスストアや、広いちゆう車場をもつ大きなスーパーマーケットでは、買い物だけでなく、チケット予約や宅配便の申し込み、銀行ふりこみといったさまざまなサービスを取り入れています。

さまざまな種類の店が集まっているショッピングセンターには、買い物ができる場所のほかに、遊ぶ場所や、いろいろな飲食店が集まったフードコートなどもあります。



ショッピングセンター (横浜市)



ショッピングセンター (海老名市)

(7) 貿易：原料を輸入して製品を輸出

日本の産業は、外国から原料などを買い、それを製品にして外国に売るといふ貿易のしかたによって発展してきました。

神奈川県には、横浜港、川崎港、横須賀港の3か所の貿易港があります。



3か所の貿易港の位置



横浜港（本牧ふ頭）
横浜市港湾局提供

特に、横浜港は、日本を代表する貿易港であり、約160年の歴史をもっています。毎年およそ9千せきの外国からの船が入港し、200以上の国や地域と貿易を行っています。横浜港の2022年（令和4年）の貿易額は、成田空港、東京港、名古屋港に次いで全国第4位です。

横浜港で取りあつかう輸出品（外国へ送り出すもの）のほとんどは工業製品です。中でも、自動車やその部品、工場などで使う産業機械が多く輸出されています。

また、輸入品（外国から運ばれてくるもの）で多いのは、原油や液化天然ガス、鉄鋼、アルミニウムといった原料と食料品です。



横浜港は、近くに京浜工業地帯があり、工場ですでにできた製品を船で外国へ運ぶのにとても便利な場所にあります。

ふ頭には、近代的なコンテナターミナルがあり、機械によって多くの荷物が積みおろしされています。大きなコンテナ船には、およそ2万4千個のコンテナを乗せることができます。

また、石油などはタンカーという大きな船で運びます。



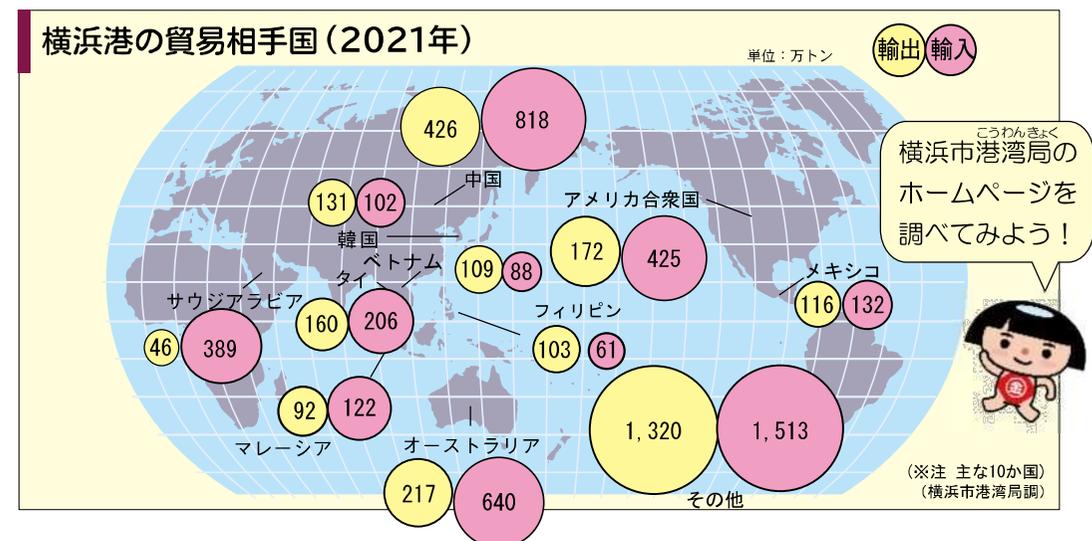
コンテナを船に積む作業



タンカー

横浜市港湾局提供

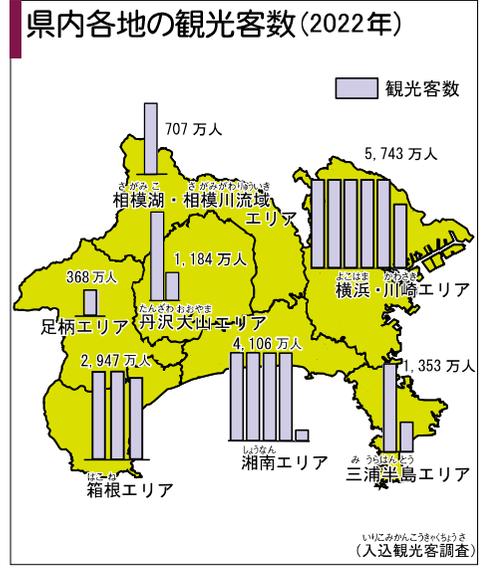
横浜港の輸出量が最も多い貿易の相手国は中国で、化学工業品や産業機械の輸出が多くなっています。輸入量が最も多い貿易の相手国も中国で、電気機械や産業機械が多くなっています。



(8) 観光：楽しさいっぱいの神奈川県

神奈川県には、変化の多い海岸や、箱根・丹沢の山々などの美しい自然、歴史的に有名な鎌倉、国際港や中華街のある横浜など、多くの観光地があり、国内ばかりでなく外国からも、たくさんの観光客がおとずれています。

(公社) 神奈川県観光協会
(公財) 神奈川県公園協会の
ホームページを調べてみよう



62ページから67ページの
お祭りや文化財も読んで
みよう!



(イラスト コダイラ ヤスシ)